

CBIS

研究情報を効率的に管理して
情報資産としての価値を向上させます



情報をいかに管理するか。それは、研究力

日々の研究から生み出されるデータを整理し、管理し、活用していくという作業負担は思いのほか大きく、研究者が本来取り組むべき業務を圧迫してしまうケースも数多く見受けられます。

CBISは、このような作業負担から研究者を解放し、情報の活用度を高めることによって、研究力の質的向上に貢献する研究情報統合管理システムです。



研究情報の管理を効率化してコストを削減



研究施設内のあらゆるデータ／文書を管理



業務内容に合わせて柔軟にカスタマイズ可能



機能のモジュール化により段階的に投資可能



サイエンスをよく理解しているエンジニアが構築

CBIS

研究情報共有システム

実験データ



研究材料



化学構造式



文書・資料



レポート



実験手順



プロジェクト



の「質」を左右します。



研究における情報管理の効率化とコスト削減

研究情報をCBISで管理することにより、目的の情報を探すために要する時間を大幅に削減できます。また、研究データを整理したり定型フォーマットへ出力したりする作業を自動化できます。その結果、データ管理のルーチン作業をなくして研究業務を効率化します。



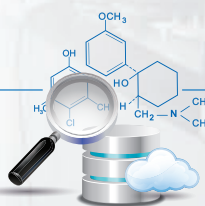
情報共有によるアイデアの創出や協業の活性化

過去の研究データや関連する情報を俯瞰できるためアイデアの創出を活性化します。さらに、研究グループ内や研究所全体で情報を共有することで有益な情報交換ができ、協業の活性化により研究の質を高めます。



データの散逸や不整合の防止

研究情報の一元管理によりデータの散逸を防げます。データの編集や削除の権限を指定できるので、不用意な変更などに起因してデータが失われる危険性を低減します。また、データの登録を業務フローに合わせることで、データの整合性や一貫性を維持できます。



必要な情報への容易なアクセス

キーワードを入力する簡易検索と、様々な条件を組み合わせる詳細検索を使ってデータを検索できます。登録したデータファイルの中身も検索対象です。ユーザーごとに許可されたデータだけが表示されるため、求める情報が見つかりやすくなるだけでなく、研究情報の機密性が保持されます。



優れたインターフェース

わかりやすい画面構成で直感的に操作できます。また、Web ブラウザーからアクセスするため、ネットワーク上の全ての端末から利用できます。データ全体を俯瞰する一覧表示と、個別のデータに注目する詳細表示の2つの表示形式があります。また、ユーザーごとに画面設定を保存できるので利便性が向上します。

研究の「質」に影響する情報管理の課題、

データの種類や形式、部署の方針などによって管理方法が違ふことは、研究における情報活用に様々な課題を発生させます。CBISを導入することにより、実験データやレポートはもちろん、化合物情報、在庫情報から参考文献にいたるまで、研究に関するあらゆるデータ／情報の統合管理が可能になります。

研究情報の管理で こんな悩みや課題はありませんか？

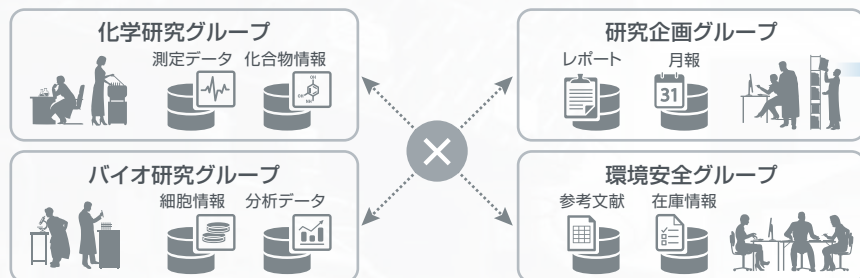
CBIS

研究情報共有システム

課題

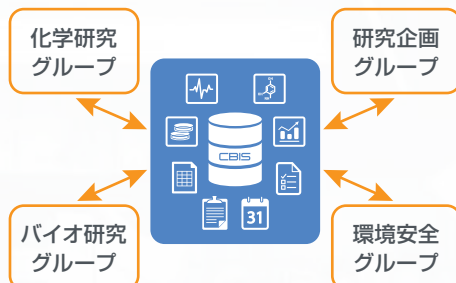
1

データの種類によって管理の仕方が違うので、情報が散逸してしまう。しかも、各部署で個別に管理しているため、他部門の知見を利用できない。



解決

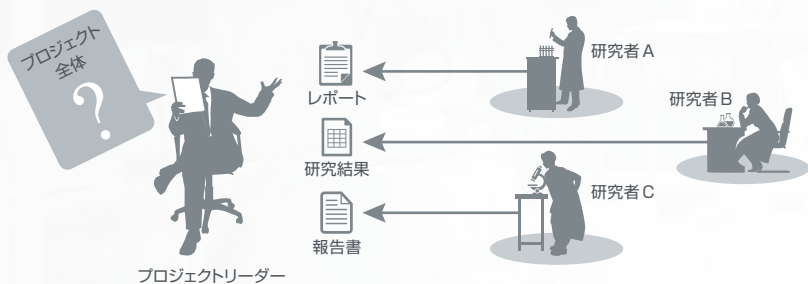
1



課題

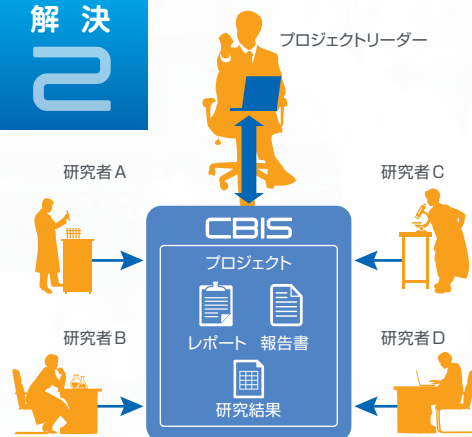
2

各研究者の実験結果や進捗の報告を受けているが、プロジェクト全体の状況を把握できない。



解決

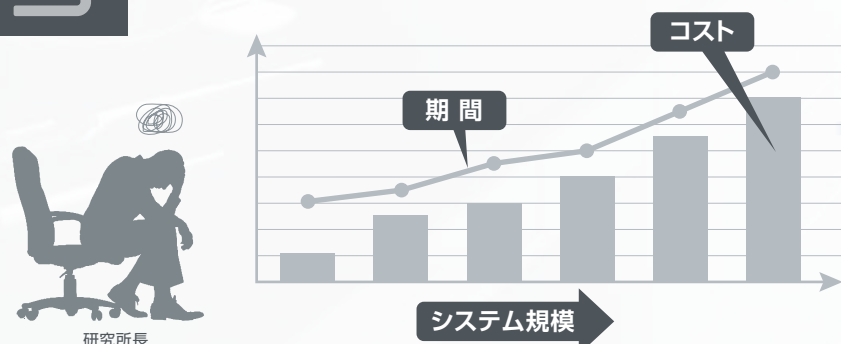
2



課題

3

システムの導入には高いコストと長い開発期間がかかるイメージがある。



解決

3



CBIS が解決します。

研究情報の管理をめぐる課題を解決し 研究力の質的向上に貢献します

多様な研究情報を統合的に管理し、シームレスにアクセス

CBIS では、測定データ、文献、化合物情報（構造式、物性等）などの様々な研究情報を管理できます。また、システム全体で一貫した画面構成となっているので、画面操作に迷うことなく利用できます。

さらに、情報を一元管理することで、多様なデータを有機的に結び付けて活用できるようになります。組織全体で情報を共有することで効果的な情報交換や新たな知見の発見などができ、研究業務の質を向上できます。

研究情報を一元管理することで、関連する研究情報をまとめて表示可能



研究情報を横断的に捉えることで、プロジェクト管理業務を効率化

CBIS では、様々な研究情報をプロジェクト単位で表示できるので、目的のプロジェクトの全体像や個別の実験結果などを容易に把握できます。

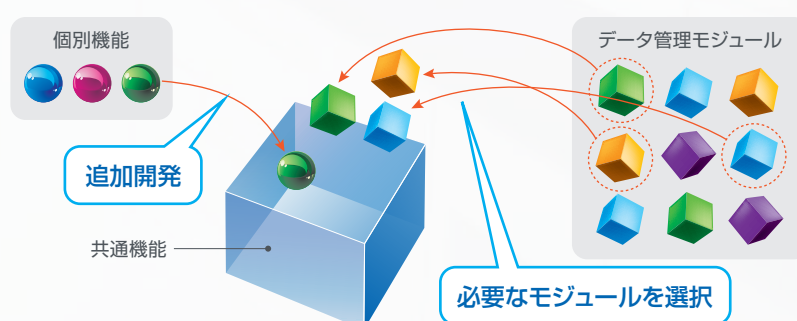
また、プロジェクトの進捗状況をチャートイメージにより一目で確認できます。



イーजीオーダー型の開発で、コストメリットと迅速な導入を実現

CBIS は、研究情報の管理に求められる機能をデータの種類ごとにモジュール化しています。これらデータ管理モジュールを組み合わせつつ、業務ごとに要求の異なる機能については個別にカスタマイズするイーजीオーダー型開発を行うことで、コストや期間を抑えて業務に適したシステムを構築することができます。

さらに、業務拡大や変更などの際は、必要に応じてデータ管理モジュールや個別機能を追加・改修することでシステムを柔軟にフィットさせることが可能です。



充実した機能群が研究情報の活用を促進し

CBISの各機能は、データの種類ごとにモジュール化されています。共通機能をベースとして必要なデータ管理モジュールを組み合わせることで、研究業務の要件にフィットしたシステムを短期間で効率よく構築できます。

共通機能



インターフェース

検索やソートなどの機能を備えた使いやすいWebインターフェースで各社の研究業務に対応した画面設計が可能です。

一覧表示ページ

大量のデータを1つのページに表示することで、効率よく俯瞰するためのページです。

詳細表示ページ

特定の情報に注目して、関連するデータを1つのページに集約して閲覧するためのページです。

検索

フリーキーワードによるテキスト検索に加え、融点や沸点などの物性情報に対する数値検索、また構造式に対する完全一致、部分一致をはじめとした様々な検索が可能です。これらの検索条件を組み合わせることで、膨大なデータの中から目的のデータを効率よく見つけ出すことができます。



アクセス制御

職位や所属グループに基づいたユーザーごとのアクセス権限と、組み合わせることができます。その結果、柔軟な表示制御が可能に取り扱うことができます。ユーザー認証にはActive Directoryが利用されます。

公開範囲・操作権限設定

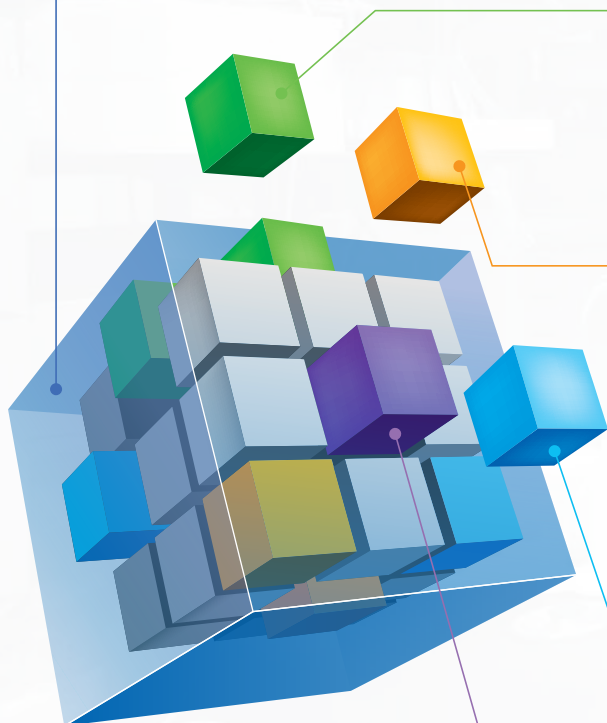
ユーザーのアクセス権とデータの公開レベルとの組み合わせに応じて、データといった様々な水準で、きめ細かく表示内容や操作権限を設定できます。

プロジェクト単位での情報管理

プロジェクトやテーマなど、特定のグループに属するメンバーのみに限定して

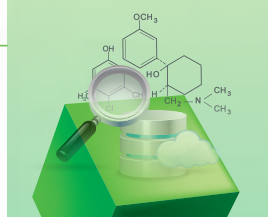
CBIS

研究情報共有システム



データ管理モジュール

化合物



合成検討、活性・物性・性能評価などを行うときのコアになる化合物情報を管理するために必須となるモジュールです。

構造情報をはじめ、物性や在庫などのデータを管理することができます。法規制情報との組み合わせにより、毒劇物の検出や使用量集計などの機能を備えることができます。

研究サンプル



生体試料や無機材料、ポリマー、触媒、半導体、新素材、食品、化粧品など様々な研究サンプルの管理に幅広く対応します。

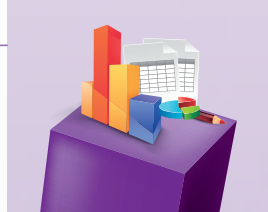
オリジナルのカタログを構築できます。あわせて在庫の管理を行うことで、購入、調製、使用などの履歴を細かく把握できます。

電子ファイル



個人のPCや共有サーバーに散逸しがちな様々な種類の電子ファイルを一元管理できます。電子ファイルと関連情報とを紐付けることにより、効果的に活用できる仕組みを提供します。

可視化



活性評価や阻害活性評価のレスポンスカーブ描画、HTSプレートの相対活性に基づいたプレートウェルの色による濃淡表示、機器分析スペクトルの描画、画像ファイルのサムネイル表示、プロジェクトの進捗のチャートイメージなど、様々な可視化機能を提供します。

ます。



CBIS

研究情報共有システム



データ入出力

データごとの公開レベルとをになり、重要なデータを厳重yなどの統合認証を利用でき

汎用性の高い形式のファイルを用いたデータの入出力に対応しているので、効率的に作業できます。

以下のようなファイル形式のほか、データベース間でのデータ連携、各種分析・測定機器などから出力されるファイルの直接入力が可能です。

Microsoft Excel形式

Microsoft Access形式

テキスト形式 (CSV、タブ区切り)

データ管理モジュール、ページ、きます。

情報共有に対応しています。



モジュール間連携

データはその種類や目的に応じて個別に管理されますが、ユーザーは相互に関連するデータを適切に参照できます。

詳細表示ページでの集約表示

たとえば1つの化合物について在庫、合成記録、法規制情報まで含めて網羅的に表示するページ設計が可能です。

ハイパーリンク

たとえば化合物データから該当化合物のアッセイ結果を参照したり、アッセイデータから該当アッセイの細胞株情報を参照することができます。



カタログ情報

市販品のカタログにとどまらず、自社合成品などを掲載することでオリジナルのカタログを構築できます。



構造情報

構造情報の入力や検索に利用できる構造式描画ツールが付属します。完全一致、部分一致のほか、立体配置を考慮した検索が可能です。



カタログ情報

柔軟な設計が可能なため、管理対象となる研究サンプルに最適なカタログを構築できます。



バイオサンプル

由来、配列、継代培養履歴など、様々なバイオサンプルに特有の多様なデータの管理に対応します。



キーワード検索

ファイル名だけでなくファイル中に含まれる文字列に対するキーワード検索が可能です。これによりファイルの再利用性を高めます。

※汎用的に用いられている Adobe PDF ファイルや Microsoft Office 形式ファイル (Word、Excel、PowerPoint) に対応しています。



アッセイ

プロットデータからのレスポンスカーブ作成、IC50/EC50の算出が可能です。



SARテーブル

構造活性相関テーブルを作成して、アッセイ値などを色付けして表示することができます。



在庫情報

カタログ情報に関連したロット管理を行うことで、在庫の把握が容易になり、コスト削減にも貢献します。



SDF形式ファイル

構造情報の入出力は SDF 形式のファイルに対応しています。大量のデータを効率よく取り扱えます。



在庫管理

入手、使用、廃棄などの履歴管理が可能です。棚卸しを省力化する機能を提供します。



ポリマー

モノマーや触媒、重合条件、物性情報などのポリマーに特有のデータを管理します。



画像ファイル

JPEG、GIF、PNG、BMPなどの形式に対応し、サムネイルを表示できます。



HTS

相対活性、化合物、ロットなどによってウェルごとに色による濃淡で表示したプレート様式でアッセイ結果を表示します。



テーマ・プロジェクト管理

テーマやプロジェクトの進捗状況をチャートイメージで表示します。



物性値

沸点や融点、logPなどの物性値に対して、“10以上”、“50以下”のような範囲を条件にした検索ができます。



各種履歴

購入、調製、使用、譲渡、廃棄といった操作のログが自動的に収集されるため、履歴管理が容易になります。



試薬

溶媒、酵素、培地などの購入品、自社調製品をまとめて管理します。



新素材

柔軟なカスタマイズにより、アモルファス金属、フィンをセラミックス、複合材料などに幅広く対応します。



機器出力結果ファイル

各種分析・測定機器より出力されるファイルから直接データを読み込むことができます。

※対応しているファイル形式につきましてはご相談ください。



機器分析スペクトル

機器から出力されるファイルを直接取り込んで、スペクトルチャートを表示します。



ChemInnovation Software社 CBIS日本総代理店

株式会社 モルシス

 <https://www.molsis.co.jp/>

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-19-9 ジオ八丁堀
TEL: 03-3553-8030 FAX: 03-3553-8031
E-mail : sales@molsis.co.jp



※記載の商品名は各社の商標または登録商標です。
※本カタログの仕様は予告なく変更する場合があります。

2018.06